

## 踏み台

この踏み台は樹齢二百年以上の木曽檜と竹釘、膠（にかわ）でつくられています。無塗装ですが鉋がけされているため木の肌はつやがあり、竹釘を使うことによって各部材の接合と構造がより強固なものになっています。古くから建築に用いられる四方転びという構造で作られた末広がりの形は、安定性があり重さに耐え、踏み台として理にかなった形をしています。

### ◎ご使用に際して

踏み台は人の全体重をのせるため、使い方を間違えるだけがや事故の原因となります。注意事項をよくお読みいただき、ご使用ください。

- ・一部の脚が浮いている状態で使用しないでください。転倒してけがをする危険があります。

- ・必ず水平面で使用してください。踏み台の破損や転倒の恐れがあり、けがをする危険があります。

- ・ステップ板以外の脚の間にある水平材は貫（ぬき）といいます。貫に荷重を加えないでください。踏み台の破損や転倒の恐れがあり、けがをする危険があります。

- ・ガタツキがでた場合は使用を中止してください。そのまま使い続けると踏み台が破損し、けがをする危険があります。

- ・膠が主成分の接着剤と竹釘で接合していますので、じわじわとした荷重には強いですが、瞬間的な衝撃には弱いです。勢いよく踏み台に乗ったり、踏み台の上で飛び跳ねたりしないでください。また踏み台を倒したり、ぶつけたりしないようにしてください。

- ・ストーブのそばやサウナなど高温になる環境には置かないでください。木が焦げたり、踏み台の破損や火災の原因になる恐れがあります。また接合に使用している膠は六十度以上の高温環境でゆるみますので、熱源のそばや高温環境での使用は絶対に避けてください。

- ・足をかける箇所は天板とステップ板のみで上からの荷重に限ります。ご使用の際には斜めからの荷重は避けてください。

- ・木は水分を吸つたり、乾いたりするたびに膨張・収縮を繰り返します。直射日光等による過度な乾燥や、水気の多い場所（湯気のこもる洗面所など）での使用は木の反りや収縮による割れ、接合部のはずれの原因となりますので避けてください。

### ◎木ヤニについて

木肌に油染みのようなものが出ることがあります。これは木から発生する天然の樹脂で、人体には無害です。檜の香りの素となつており、耐水・殺菌性も高めています。べとつきが気になる場合は消毒用アルコールで拭き取ってください。

◎製品に関するご意見やご質問など、左記までお気軽にご連絡ください。

素材／木曽檜、竹、膠  
製造／橋渡弘幸（長野県下伊那郡）、山一（長野県木曽郡）

デザイン／猿山修、備考／耐荷重 130Kg（※1）、構造確認試験 異常なし（※2）

※1、※2 試験実施機関 一般財団法人ボーケン品質評価機構  
※1 試験番号30514008849 発行日2015年2月20日  
※2 試験番号305160060301 発行日2016年10月19日

株式会社 東屋   
〒一四一〇〇二二一  
東京 都品川区東五反田五丁目一  
電話 ○三一五七九八一七五一〇  
ファックス ○三一五七九八一七五一一  
[www.ezunoya.co.jp](http://www.ezunoya.co.jp)